

みずほCustomer Desk Report 2022/09/27号(As of 2022/09/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	144.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	143.52	0.9688	139.06	1.0799	0.6532
SYD-NY High	144.79	0.9709	139.52	1.0934	0.6537
SYD-NY Low	143.20	0.9528	137.39	1.0327	0.6438
NY 5:00 PM	144.73	0.9609	138.96	1.0690	0.6459

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,260.81	▲ 329.60	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	10,802.92	▲ 65.01	日本10年債	0.2500%	0.0200%
S&P	3,655.04	▲ 38.19	米国2年債	4.3439%	0.1418%
日経平均	26,431.55	▲ 722.28	米国5年債	4.1968%	0.2206%
TOPIX	1,864.28	▲ 51.84	米国10年債	3.9275%	0.2419%
シカゴ日経先物	26,345.00	▲ 80.00	独10年債	2.0885%	0.0615%
ロンドンFT	7,020.95	2.35	英10年債	4.2330%	0.4140%
DAX	12,227.92	▲ 56.27	豪10年債	3.9863%	0.0763%
ハンセン指数	17,855.14	▲ 78.13	USDJPY 1M Vol	13.51%	0.82%
上海総合	3,051.23	▲ 37.14	USDJPY 3M Vol	13.24%	0.57%
NY金	1,633.40	▲ 22.20	USDJPY 6M Vol	12.58%	0.63%
WTI	76.71	▲ 2.03	USDJPY 1M 25RR	▲1.66%	Yen Call Over
CRB指数	264.30	▲ 4.17	EURJPY 3M Vol	14.53%	0.74%
ドルインデックス	114.10	0.91	EURJPY 6M Vol	13.97%	0.63%

東京	東京時間のドル円は143.52レベルでオープン。財政悪化懸念が強まっているボンドやそれにつられたユーロを中心にドル買いが進み、仲値近辺には144円を突破。その水準では当局に対する警戒感もあつたか勢いは弱まるも、その後もじりじりとドル高が続き、一時144.25まで上昇。午後には調整が入り143.43まで下落する場面も見られたが、引けにかけて値を戻し143.89レベルでクローズした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は143.90レベルでオープン。目新しい材料に欠けるか、東京時間で見られたドル高・円売りの流れが継続。144.19レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台半ばでスタート。英国で財政悪化懸念が燦る中、対欧州通貨のドル買いが波及した結果、ドル円は144円台を回復。その後は144円ちょうどを挟んでレンジ推移となるが、早朝には144.38まで上昇し、144.19レベルでNYオープン。朝方は一部報道でBOEが本日に声明を発表すると伝わったことからボンドドルが乱高下するものの、ドル円は144円付近のレンジを維持。しかし、その後は米長期金利が大きく上昇すると日米金利差を意識した買いが強まり、海外時間高値(143.38)を上抜ける。午後は米長期金利の上昇が続き、前日比で20bp近く上昇する中、ドル円も144.79まで高値更新。終盤は高値圏で小動きとなり、144.73でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.96台後半でスタート。東京時間ではボンドドルの下落に連れ安となり、一時0.9528まで下落するが、その後、0.9650近辺まで買い戻され0.9639レベルでNYオープン。朝方はBOEが緊急声明を出すとの報道でボンド安への対策が行われるとの期待感から上昇するボンドに連れ高となり、0.9689まで上昇するが、声明が「BOE、次回定例会合でボンド安と財政計画を評価へ」程度の内容に留まったことから、ボンドとともに反落。その後、米金利上昇をあいまって、一時0.9599をタッチ。午後は0.9600付近で上値重く推移。結局、0.9609レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大橋・木村

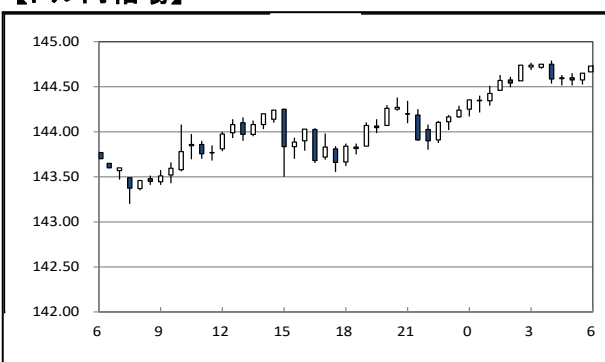
【昨日の指標等】

Date		Time	Event	結果	予想	
9月26日	17:00	独	IFO指数(企業景況感/現況/期待)	9月	84.3/94.5/75.2	87.0/96.0/79.0
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	8月	0.00	0.23

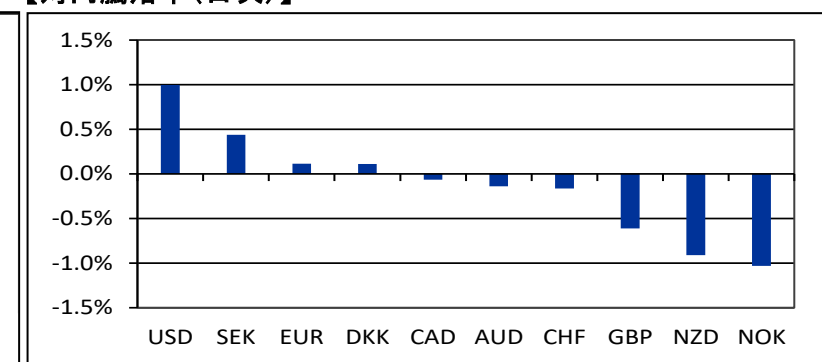
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
9月27日	19:15	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-	
	20:30	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	
	21:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	8月	-0.3%	-0.1%
	21:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)・速報	8月	0.2%	0.2%
	22:55	米	ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-	-
	23:00	米	コンファレンスボード消費者信頼感	9月	104.5	103.2
	23:00	米	新築住宅販売件数	8月	500k	511k
9月28日	02:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.00-145.50	0.9500-0.9700	137.50-140.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇相場継続。143円半ばでスタートしたドル円は財政悪化懸念が燦るボンドの下落やユーロの下落を受け、ドル高圧力が強まり、144円台まで上昇。ロンドン時間では、特段新たな材料がない中、ドル高の流れは継続。NY時間では、一部報道でBOEから声明が発表されることが伝わると、ボンドは乱高下。一方でドル円は144円付近で推移した後、じり高が進み144.73レベルでクローズ。本日のドル円はもみ合う展開を予想。先週末からマーケットの震源地となっているボンドは、週明けも継続している中、昨日はBOEのベリー総裁から「金融資産の大幅な値動きを受け、BOEは金融市場の動向を注意深く見守っている」との発言が出ると瞬間的に金利低下で反応するも、その後金利上昇に転じるなど、地合いの悪さが継続している様子。引き続き、ボンド安によりドル高が継続するかに注目したい。一方で、先週末実施された日銀による為替介入の買入実績予想が市場で観測し始めており、残り弾が意識され145円台ではもみ合う展開が考えられる。